

## 陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

調査は、令和2年2月10～11日及び3月3～4日に陸奥湾湾口周辺海域の12地点で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)により実施しました。その結果、主要調査地点(St. 3、4、8、9、11、12)における3月の平均稚仔分布密度は0.015個体/m<sup>3</sup>で、2月調査時の平均稚仔分布密度0.001個体/m<sup>3</sup>よりも高い値でした(図1)。また、主要調査地点の2～3月平均稚仔分布密度は0.008個体/m<sup>3</sup>で、低い水準であると考えられた昨年の0.003個体/m<sup>3</sup>と同水準の低い値でした(図2)。(担当：資源管理部)

※令和2年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

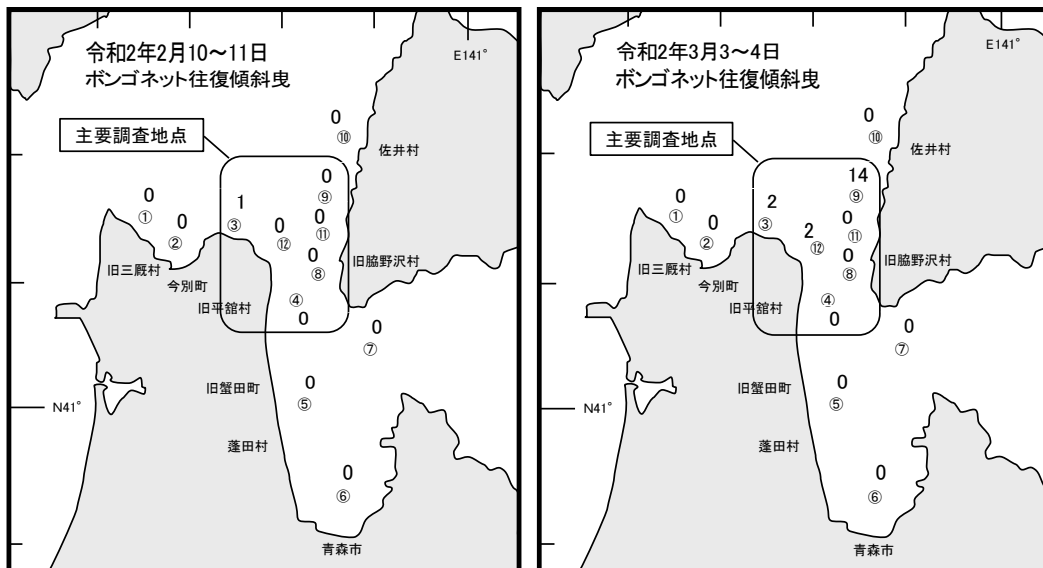


図1 イカナゴ稚仔魚分布密度調査結果(左：2月調査、右：3月調査)

(単位：個体/100m<sup>3</sup>)

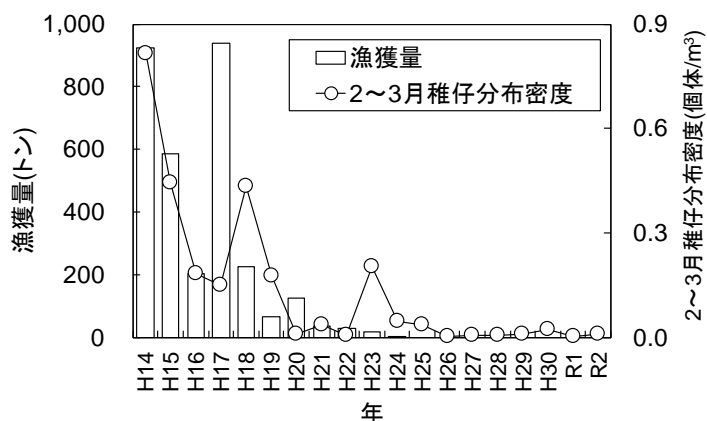


図2 イカナゴ漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移

担当：資源管理部(小谷)

Tel: 017-755-2155

Fax: 017-755-2156